

●保証とアフターサービス

保証書

本商品が故障した場合、明示された期間および条件の下で、無料修理または交換をいたします。ただし、レシート・購入証明書・購入履歴書などが無い場合や、購入証明を紛失した場合は保証の対象外となります。購入証明の再発行につきましては、販売店へご相談ください。

販売店舗記入欄

商品名：ポータブル・ラジカセ【DIDICA mini (デジカ・ミニ)】
商品型番：RC-850
保証期間：お買い上げ日から1年間（お買い上げ日 年 月 日）
販売店舗印：

※販売店や購入日などを証明できるものも必ず一緒に保管してください。

【保証規定】

- ・保証期間はお買い上げ日より1年間となります。初開梱日、ご使用開始日ではございません。
- ・正常な使用（取扱説明書に従った使用）において本商品が故障した場合、保証期間内に限り、本商品（本体）を無償にて修理、または交換させていただきます。ただし故障が再現されない時には検査費用が発生する場合がございます。
- ・故障の場合は、下記販売元にご連絡の上、受付の手続きをお願い致します。ご連絡なく送付された商品はお受け取り出来ません。
- ・使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障、損傷は保証の対象外となります。
- ・お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷は保証の対象外となります。
- ・火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、指定以外の電源（電圧、電流、周波数）による故障および損傷は保証の対象外となります。
- ・付属品が不足、破損している場合は、必ず商品到着後7日以内に下記販売元までご連絡ください。
- ・この保証書は日本国内においてのみ有効です。
- ・この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※本保証書は保証規定により、無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※お客様の個人情報は、本商品に関するご質問や故障の際、お客様と連絡を取るためにのみ使用するものです。

※下記販売元への直接のお持ち込みによる修理対応、使用方法の説明等は行っておりません。

※本保証書はお客様のご購入の証明になりますので、大切に保管してください。

※本商品は一般家庭用に設計されておりますので、業務用でご使用された際の不具合に関しては、保証の対象外となります。

発売元：株式会社クマザキエイム

〒222-0013 神奈川県横浜市港北区錦が丘12-17 クマザキビル3階

TEL：045-716-9650 FAX：045-716-9685

E-mail：info@kumazaki-aim.co.jp URL：http://www.kumazaki-aim.co.jp

お問い合わせ

お問い合わせいただく際は、事前に次の点をご確認の上ご連絡ください。
(1) 製品名、品番、色 (2) ご購入年月日/購入店 (3) 故障状況（できるだけ詳しく）

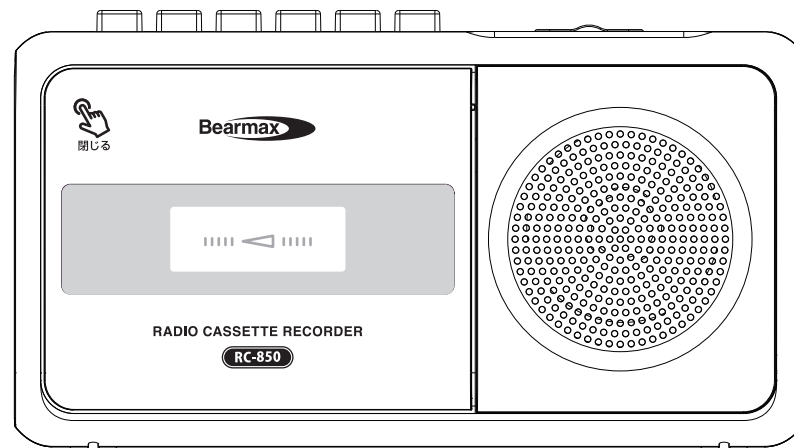
取扱説明書 保証書付

Bearmax

ポータブル・ラジカセ【DIDICA mini (デジカ・ミニ)】

オールシー

商品型番：RC-850



このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
ご使用前に必ずこの説明書をお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください

本製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

目次

セット内容・主な仕様	2	カセットテープへ録音する	10
安全上のご注意	3~4	カセットテープのご使用に際して	11
各部の名称	5~6	お手入れの仕方	12
電源について	7	故障かな?と思ったら	13~14
共通操作	7	MEMO	15
ラジオを聴く	8	保証とアフターサービス	16
カセットテープを聴く	9		

MEMO

セット内容

※商品到着後すぐにセット内容を確認してください。

- RC-850本体
- 電源コード
- 取扱説明書(保証書付/本誌)

主な仕様

電源	家庭用電源：AC100V 50/60Hz	
	乾電池：DC6V 単2形×4個使用	
消費電力	6W	
スピーカー	実用最大出力：3W 再生方式：モノラル	
出力端子	イヤホン：Ø3.5mmミニ 再生方式：モノラル	
ラジオ	受信周波数	AM：522 kHz ~ 1629 kHz
		FM：76 MHz ~ 108 MHz
カセットテープ	対応テープ形式：Type1（ノーマル）※両面60分以内	
外形寸法(約)	幅：228 × 奥：76 × 高：120 mm	
質量(約)	0.87kg ※乾電池含まず	

※仕様および外観は、製品の性能改善等のため予告なく変更する場合があります。

●故障かな?と思ったら

症状	対処方法
録音状態にならない	<ul style="list-style-type: none"> ・カセットデッキにテープが入っているか確認してください。 ・誤消去防止用ツメが折れている場合は、ツメのついているテープと交換をするか、セロハンテープなどでツメの穴を塞いでください。 ・市販のヘッドクリーナーで消去ヘッドを清掃してください。 ※無理に録音ボタンを押すと破損の恐れがあります。

【ラジオ】




症状	対処方法
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> ・周波数を正しく合わせてください。 ・FM受信時：アンテナの向きを調節してください。 ・AM受信時：本体の向きを調節してください。 乾電池でご使用ください。

●安全上のご注意


※電気製品は、正しく取り扱うことで安全にお使いいただけます。ご使用前に次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。
※注意事項は、危害や損害の大きさや切迫の程度を示すために「警告」と「注意」の2つに区分しています。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく  の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
内容を次の図記号で説明しています。  の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。
 の記号は「しなければならない行為（強制事項）」を示します。

⚠ 警告

 **■交流100V以外で使用しない**
表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。


■国外では使用しない
本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

■電源コードを傷つけない
無理な使いかたをすると電源コードが破損しますので、次のようなことはしないでください。
電源コードの上に重いものを乗せる。 途中でつぎ足したりなどの加工する。
無理に折り曲げる。 傷をつける。 ねじったり、引っ張ったりする。
熱器具に近づける。 電源コードは束ねたまま使用する。
※電源コードが傷んだときは、お買い上げの販売店、または総発売元に修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■濡れた手で電源コードを抜き差ししない 火災、感電やけがの原因となります。

! **■電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む**
■差し込み部分は定期的に点検する
定期的に電源プラグと器具用プラグに付着したほこり、よれなどを取り除いてください。
ほこりにより、ショート・絶縁不良・発火・発熱が起り火災の原因となります。

 **■雷が近づいたら電源コードをコンセントから抜く**
落雷による一時的な過電流により、電子部品損傷の原因となります。

 **■分解・修理・改造はしない**
火災・故障の原因となります。また保証期間内であっても保証の対象外となります。
■内部に異物を入れない 火災・故障や感電の原因となります。
■本体背面の通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となります。
■異常・故障、破損時には、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く
お買い上げの販売店か発売元に修理を依頼してください。

●安全上のご注意

⚠ 警告

- **■ぐらついた台や傾いた所に置かない** 落下シケガ・故障の原因になります。
- **■温度の異常に高い場所で使用しない**
- **■調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や、油煙や湯気が当たるような場所に置かない** 火災・感電・故障の原因になることがあります。
- **■駐車中の自動車内等、高温になる場所で保管しない** 樹脂部品の変形の原因になります。
- **■濡らさない** 本機を濡らしたり、水につけないでください。ショート・感電の原因となります。

- **■電池は正しいものを使用する**
電池を交換する際は、同一または同タイプのものを使用する。
正しく交換されていないと爆発の危険があり、火災・感電やけがの原因となります。

⚠ 注意

- **■電源コードは付属のもの以外を使用しない**
- **■付属の電源コードを他の機器に使用しない** 火災、感電の原因となります。
- **■イヤホン、ヘッドホンの使用時に音量を上げ過ぎない** 聴力障害などの原因になります。

- **■長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜く** 火災の原因となります。
 - **■乾電池を取り扱うときは、次の事を守る**
 - 指定以外の乾電池は使用しない。 □ 極性表示のプラスとマイナスを間違えて挿入しない。
 - 乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は本体に入れておかない。
 - 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。
 - 長時間使用しないときは、本体から乾電池はすべて取り出す。
 - 本体から電源コードを抜いた状態で、乾電池を入れたまま長時間放置しない。
 - 水に濡らしたり、濡れた手で触らない。
 - 直射日光の当たる場所や火の近くなど、熱源の近くに置かない。
- ※発熱・液漏れ・破裂などにより、やけど・けがの原因になる事があります。
もし液に触れたときは、水でよく洗い流し、医師に相談してください。液が本体についた場合は、液に直接触れない様に拭き取ってください。

- **■電源を切る前には音量を下げる**
再度電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になります。
- **■持ち運ぶときは、FMアンテナをたたみ、電源プラグをコンセントから抜く**

免責事項について

- 地震・雷・風水害などの災害、および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らない事により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

●故障かな?と思ったら

発売元にご相談になる前に、もう一度下記内容をご確認ください。
ご不明な点がある時は、保証書にある発売元へお問い合わせください。

【製品共通】

症状	対処方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグをコンセントに入れてください。 ・本体の電源コード差込口に電源コードを奥までしっかりと差し込んでください。 ・乾電池が正しく入っているか確認してください。 ・乾電池が消耗したら、新しい乾電池と交換してください。
音がひずむ	<ul style="list-style-type: none"> ・本体をテレビや蛍光灯等の電気製品から離してください。 ・音量を小さくしてください。

【カセットテープ】

症状	対処方法
テープが入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・テープの露出面を上にして入れてください。
テープが回転しない	<ul style="list-style-type: none"> ・テープをカセットデッキに正しく入れてください。 ・乾電池が消耗したら、新しい乾電池と交換してください。
テープが機械に巻きつく	<ul style="list-style-type: none"> ・市販のヘッドクリーナーでピンチローラーやキャプスタンを掃除してください。 ・テープの弛みを直してからご使用ください。 ・古いテープはからまりやすく、テープにダメージを与えますので、使用しないでください。 ・60分を超えるテープは使用しないでください。
早送り・巻戻しが遅い ／回転むらがある	<ul style="list-style-type: none"> ・TYPE1(ノーマル)の60分以内のテープをご使用ください。
音が割れる／雑音 ／音が小さい ／音が聞こえない ／録音されない	<ul style="list-style-type: none"> ・市販のヘッドクリーナーでヘッドを掃除してください。 ・新しいテープと交換してください。
前に録音されている音が完全に消えない	<ul style="list-style-type: none"> ・TYPE1(ノーマル)テープをお使いください。クローム、ハイポジション、メタルテープは使用できません。

●お手入れの仕方

※お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池を取り出してください。

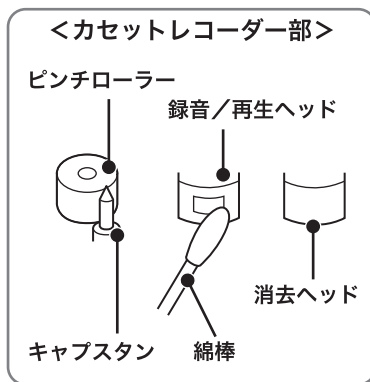
■本体のクリーニング

やわらかい布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
△ベンジン・アルコール・シンナーなどの化学薬品は使わないでください。変色や変質の恐れがあります。

■カセットレコーダー部のクリーニング

カセットテープを良い音でお楽しみ頂くために、カセットレコーダー部のヘッド・ピンチローラー・キャプスタンをいつもきれいにしてください。これらが汚れていると、音が歪んだり、小さくなったり、録音できないなどの現象が起こります。さらにテープが絡まり、テープにダメージを与える場合があります。このようなときは、次の手順で清掃してください。

- ④-②停止／取出しボタンを押してカセットドアを開けます。
△カセットテープが入っているときはテープを取り出します。
- 綿棒に市販のヘッドクリーニング液を少し含ませ、ヘッド・ピンチローラー、キャプスタンをていねいに拭いてください。
- ヘッド、ピンチローラー、キャプスタンが乾いてから、カセットテープをご使用ください。

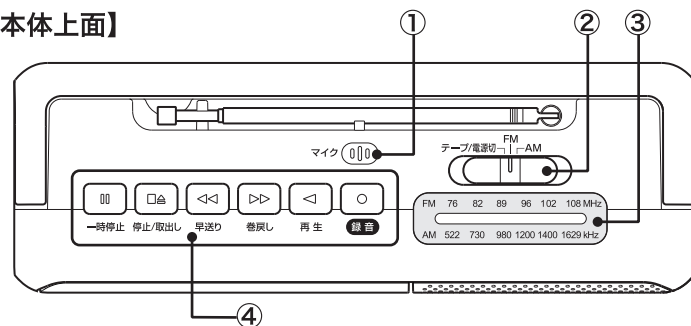


■結露について

本体を冷えきった状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本体の性能が発揮できなくなることがあります。このような場合は、1時間ほど放置をするか、徐々に室温を上げてから使用してください。

●各部の名称

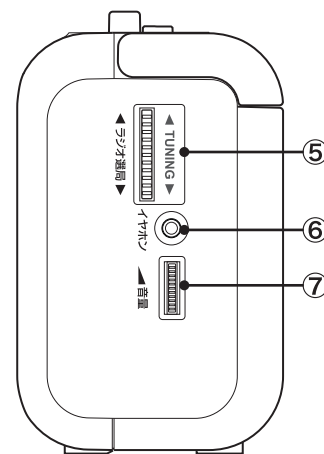
【本体上面】



- ①内蔵マイク ②機能切替スイッチ ③ラジオインジケータ
④カセットテープ操作部(左から)
④-①一時停止ボタン ④-②停止／取出しボタン ④-③早送りボタン
④-④巻戻しボタン ④-⑤再生ボタン ④-⑥録音ボタン



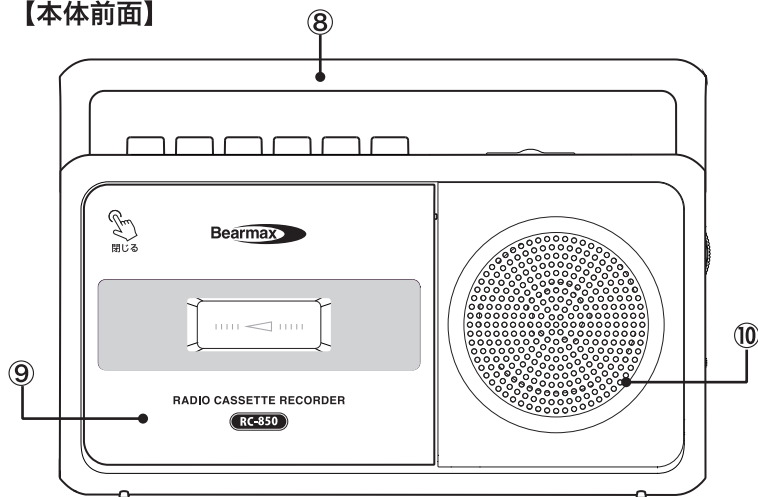
【本体側面】



- ⑤ラジオ選局ダイヤル
⑥イヤホン端子
⑦音量調整ダイヤル

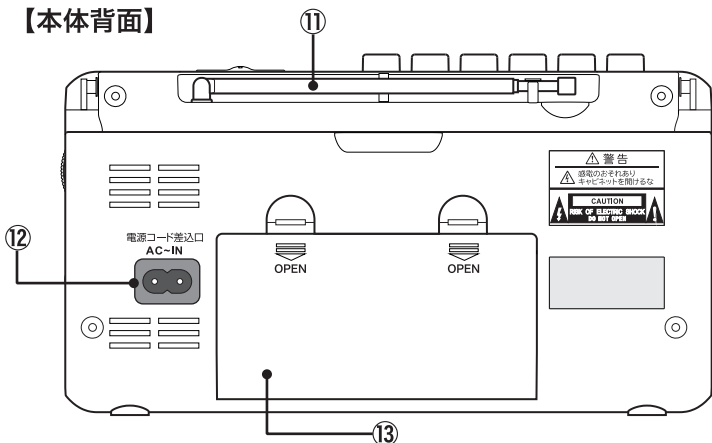
各部の名称

【本体前面】



⑧ハンドル ⑨カセットテープドア ⑩スピーカー

【本体背面】



⑪FMアンテナ ⑫電源コード差込口 ⑬乾電池収納部

※録音中にテープが最後まで終わると、④-⑥録音ボタンと④-⑤再生ボタンが同時に上がり、録音が停止します。

△ツメが折れているテープがセットされている場合やテープが入っていない場合、④-⑥録音ボタンは上がりません。

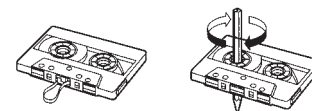
カセットテープのご使用に際して

●古いテープや長時間使用したテープは、酸化物の付着、磁性体の剥離、カビ等により音質低下や本体の故障、テープの破損のおそれがありますので、ご使用にならないください。

●テレビやスピーカーなど、磁気のおそばにテープを置かないください。磁気はテープの感度を下げ、録音を消すおそれがあります。

●TYPE1（ノーマル）テープをお使いください。クローム／ハイポジション、メタルテープは使用できません。

●テープがゆるんでいるとからまり、テープを損傷するおそれがあります。図のように鉛筆などで直してからご使用ください。



●温度や湿度が高いところや、ほこりが多い場所には長時間放置しないでください。

●上記のような古いテープや対象外のテープのご使用により本機が故障した場合、保証期間内であっても保証対象外となります。また、テープの巻き込みや破断などの損傷については、当社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

●カセットテープへ録音する

ラジオ、内蔵マイクの音声をカセットテープに録音する事が出来ます。

■録音の準備をする

録音可能なカセットテープを用意し、P9「●カセットテープを聴く」の手順に従いカセットテープをセットします。

※テープのツメが折れていない事を確認してください。

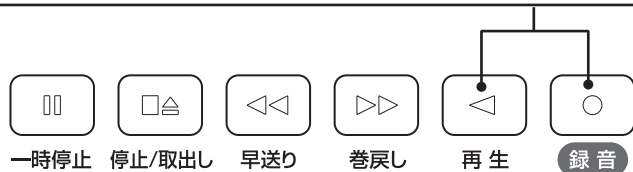
■ラジオの音声を録音する

- 1 P8「●ラジオを聴く」の手順に従い、録音したい放送局に合わせます。
- 2 ④カセットテープ操作部の④-⑥録音ボタンを押すと④-⑤再生ボタンが同時に下がり、録音を開始します。
- 3 録音を終了するには、④-②停止／取出しボタンを押します。

■内蔵マイクの音声を録音する

- 1 ②機能切替スイッチをスライドさせ、【テープ／電源切】に合わせます。
- 2 ④カセットテープ操作部の④-⑥録音ボタンを押すと④-⑤再生ボタンが同時に下がり、録音を開始します。
- 3 ①内蔵マイクに向かって発声などをします。
- 4 録音を終了するには、④-②停止／取出しボタンを押します。

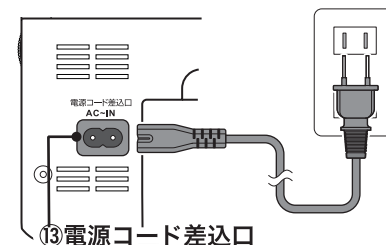
録音時は④-⑥録音ボタンと④-⑤再生ボタンが同時に下がります。



●電源について

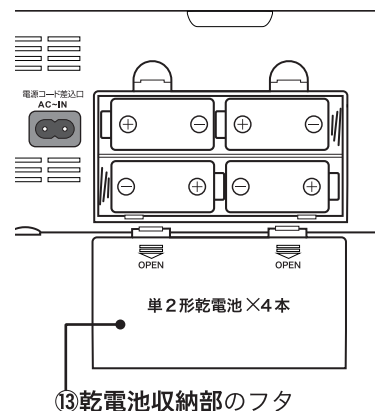
■家庭用電源でご使用の時

- 1 付属の電源コードの本体側用プラグを本体背面の⑫電源コード差込口に差し込みます。
- 2 電源コードの金属プラグをコンセントに差し込みます。



■乾電池でご使用の時

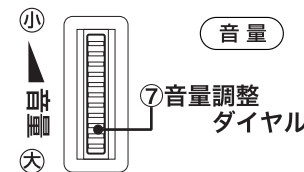
- 1 単2形乾電池(市販品／別売)を4本準備します。
- 2 ⑬乾電池収納部のフタのツメを押下げて開きます。
- 3 単2形乾電池4本の極性(プラスとマイナス)を間違えないように入れ、⑬乾電池収納部のフタを閉じます。



●共通操作

■音量の調整

⑦音量調整ダイヤルを下方方向に回すと音量が上がり、上方方向に回すと下がります。
※スピーカーとイヤホン両方の出力音量を調整出来ます。



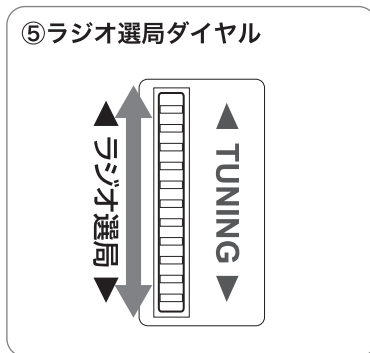
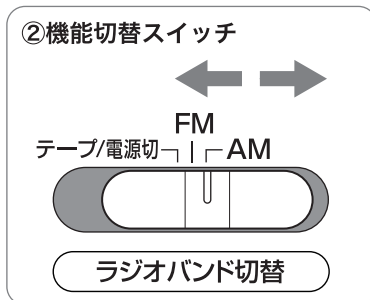
■イヤホン/ヘッドホンで聴く

イヤホンまたはヘッドホン(Ø3.5mmミニプラグ)を⑥イヤホン端子に接続します。

※イヤホンをつなぐと、⑩スピーカーから音は出ません。

○ ラジオを聴く

- ②機能切替スイッチをスライドさせ、FMまたはAMを選びます。
- ⑤ラジオ選局ダイヤルを回し、聴きたいラジオ局に合うように調整します。
※ラジオ局の周波数は③ラジオインジケーターで確認します。
オレンジ色のバーが、⑤ラジオ選局ダイヤルを上に戻すと周波数の小さい方に動き、下に回すと大きい方に動きます。
- 電源を切る時は、②機能切替スイッチを【テープ/電源切】に合わせます。



ポイント

～ 受信感度を良くするには ～

FM：本体上部の⑪FMアンテナを伸ばし、⑤ラジオ選局ダイヤルを回しながら最も受信状態の良い方向へ向けてください。

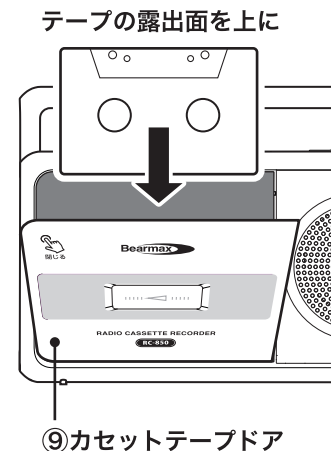
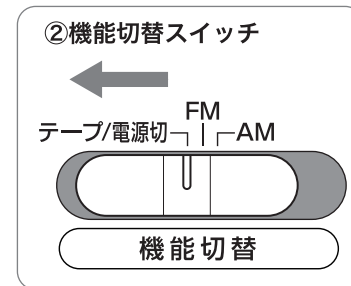
AM：乾電池を使用し、最も受信状態の良い場所(屋内の場合は窓際など)へ移動させてください。 ※電池を使用することによりノイズが軽減されます。

○ カセットテープを聴く

- 1 音声録音されているカセットテープを用意します。
- 2 ②機能切替スイッチをスライドさせ、【テープ/電源切】に合わせます。
- 3 ④-②停止/ 取出しボタンを押して、⑨カセットテープドアを開けます。
- 4 テープの露出面を上にしてカセットテープをセットし、⑨カセットテープドアを閉じます。
- 5 ④-⑤再生ボタンを押すと再生が始まります。

【その他の操作】

- 再生を一旦止める
 - ④-①一時停止ボタンを押します。もう一度押すと再生を再開します。
- 再生を止める
 - ④-②停止/ 取出しボタンを押します。
- 先に進める
 - ④-③早送りボタンを押します。
- 前に戻す
 - ④-④巻戻しボタンを押します。



※セミオートストップ機能(録音/再生時にテープが最後まで行くと自動停止する機能)がありますが、早送り/巻戻しでは自動停止しませんので、終わったら④-②停止/ 取出しボタンを押してください。
△ カセットテープは、TYPE1 (ノーマル) をお使いください。
△ 60分を超えるカセットテープや、古いカセットテープはからまりやすく故障の原因となりますので使用しないでください。